

佐藤一斎 志録 四言 碑文めぐり



佐藤一斎座像



大名墓地
下田歌子墓所

恵那特別支援学校



佐藤一斎座像



徒歩
約25分

至岩村村跡

歴史資料館
駐車場

岩村城太鼓櫓

歴史資料館

まちなか交流館

常夜灯

町並みふれあいの館
(観光協会)

土佐屋

高札場

庚申堂

道標

天満宮

柴田家

鉄砲鍛冶
加納家



13



10



15



11



9



7



6



5



4



3



2

重要伝統的建造物群保存地区

勝川家

商工会岩村支所

岩村コミュニティー
センター(公民館)

総合福祉センター

岩村診療所



12

岩村消防署

岩村警部交番

岩村振興事務所

P
合原
駐車場



- 1 少くして学べば 則ち壯にして為す有り
壯にして学べば 則ち老いて衰えず
老いて学べば 則ち死して朽ちず
- 2 人は当に自ら吾が心を礼拝し
自ら安否を問うべし
- 3 以春風接人
以秋霜自肅
- 4 怠惰の冬日は 何ぞ其の長さや
勉強の夏日は 何ぞ其の短きや
長短は我れに在りて 日に在らず
- 5 石重故不動 根深故不拔 人當知自重
- 6 身には老少有れども 而も心には老少無し
気には老少有れども 而も理には老少無し

- 7 凡そ教は外よりして入り
工夫は内よりして出づ
- 8 提一燈 行暗夜 勿憂暗夜 只頼一燈
- 9 凡そ清き者は
皆以て吾が心を洗うに足る
- 10 太上天を師とし 其の次は人を師とし 其の次は経を師とす
- 11 養生工夫 在節一字
- 12 一藝の士は 皆語るべし
- 13 清忙は養を成す 過閑は養に非ず
- 14 人は須らく忙裏に間を占め
苦中に樂を存ずる工夫を著くべし
- 15 已むを得ざるに薄りて
而る後に諸を外に発する者は花なり

至恵那市街

極楽駅

岩村駅

明知鉄道

257

山上

363

257

363

257

363

一色
密馬・国上・洲

至明智